

単元名 7 価値を見いだす 一助言を自分の文章に生かそう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 書いた文章を互いに読み合い、作品の捉え方や表現の仕方について意見を述べることができる
(2) 観点を決めて鑑賞し、根拠を明確にして読み手に分かりやすい鑑賞文を書くことができる。

感じたことを表す語彙を増やし、作品の魅力を語る表現を工夫することができる。
(3) 多様な材料や対象に広く目を向け、興味をもった作品を選んで鑑賞しようとする。

標準的な展開例

10210218_001

【準備等】友達に紹介したい本、付箋（ピンク色、水色等）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 読み手に分かりやすいように根拠を明確にし、構成を考えて書評を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 根拠を明確にし、構成を考えて書評を書こう。 ○ 作品の魅力が何かを分析する。 <p>○ 読み手によりよく伝わるような表現の工夫を考える。</p> <p>○ 書き出したことを整理して文章の組み立てを考え、構成メモを作る。</p> <p>○ 構成メモを基に、鑑賞文を書く。</p> <p>2 書評を読み合い、友達のものの方の見方や感じ方、表現の工夫を味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 書評を読み合い、友達のものの方の見方や感じ方を味わおう ○ 構成メモを基に、鑑賞文を書く。 <p>○ グループに分かれて書評を読み合い、メッセージを書く</p> <p>○ 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「作品を分析するときの観点」(p. 187)を用いて分析させる。 ・ 「思考のツール」(p. 9)を用いて分析させてもよい。 ・ 「書評に使う言葉」(p. 187)と「書評の例」(p. 187)を読み、構成と語彙に注目させる。 ・ 次の点に注意して読ませる。 <ul style="list-style-type: none"> ① 段落の数 ② 段落の役割 ③ 分かりやすく伝えるための工夫 ④ 書評にふさわしい表現や語彙 ・ 読み手を意識して、書き出しを工夫させる。 ・ 「知多の友」を使用する。 ・ 400字程度で書かせる。 ・ 「情報整理のレッスン」(p. 32), 「言葉を集めよう」(p. 80), 「読み手の立場に立つ」(p. 120), 「語彙を豊かに」(p. 300)を参考にさせる。 【評】構成を考えて、書評を書く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 前時の続きから取り組ませる。 ・ 「知多の友」を使用する。 ・ 400字程度で書かせる。 ・ 「情報整理のレッスン」(p. 32), 「言葉を集めよう」(p. 80), 「読み手の立場に立つ」(p. 120), 「語彙を豊かに」(p. 300)を参考にさせる。 【評】構成を考えて、書評を書く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 書評を読み合い、書いた人へメッセージを書く。 ・ 「自分が書いた文章をよりよくするには」(p. 186)を参考にさせる。 【評】友達同士で書評を読み、助言し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ メッセージを読んで、自分の伝えたいことを伝えることができたかを振り返る。 【評】学習を振り返り、自分の表現の工夫を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

論理的な表現は、展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える根拠としての具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり、書いたりする場合はもちろんのこと、話し合う際にも、議論の中心となる論点を明確に捉えておくことは大切である。論点が明確でないと、理解する場合も表現する場合もすれ違いが生じ、考えを深めることができなくなる。ここでは、論点を明確にすることを通して、読んだり書いたり話し合ったりしながら、考えを深めていく学習をする。

知多の友を使用する。